



高等学校日语教材

日语精读

日本語精読

(大学三年级用)

大连外国语学院日本語学院 组织编写

郭倬夫 李淑云 卢凤俊 编
苏君业 肖爽 贺静彬

蔡全胜 主审



大连理工大学出版社

© 郭倬夫等 2004

图书在版编目(CIP)数据

日语精读 / 郭倬夫等编. —大连:大连理工大学出版社,2004.8
高等学校日语教材
ISBN 7-5611-2658-1

I. 日… II. 郭… III. 日语—高等学校—教材 IV. H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2004)第 042056 号

大连理工大学出版社出版

地址:大连市凌水河 邮政编码:116024

电话:0411-84708842 传真:0411-84701466 邮购:0411-84707961

E-mail:dutp@dutp.cn URL:<http://www.dutp.cn>

大连理工印刷有限公司印刷 大连理工大学出版社发行

幅面尺寸:140mm×203mm 印张:12.75 字数:342千字

印数:1~6000

2004年8月第1版

2004年8月第1次印刷

责任编辑:于福岳

责任校对:丽涛 萧音

封面设计:孙宝福

定 价:19.80元

前 言

《日语精读(大学三年级用)》是高等院校日语专业高年级使用的精读教材,是高等院校外语专业面向 21 世纪教学内容和课程体系改革的主项课题《新大学日本语》的系列丛书之一。

《日语精读(大学三年级用)》共计 10 个单元 24 课内容,涉及日本语言、文化、社会、自然、文学(诗歌、短歌、俳句)等诸多领域。每课由课文、单词、语法注释等部分构成。并附课外读物。

《日语精读(大学三年级用)》按照日语教学大纲要求,突出培养日语交际能力,力求在创新上有所突破。该书的特色是时代气息浓厚,选题丰富多彩,语言与文化有机结合,编写科学、新颖。不仅能学习掌握日语语言理论知识,还能通过学习体会日本文化特色,了解日本社会,熟悉日本的风俗人情,加深对日本及日本人民的理解与认识。

本书在编写过程中,全体编者虽竭尽全力,但由于时间紧迫,水平所限,错误和疏漏在所难免。恳请同行批评指正。

在编写过程中还得到各方支持与帮助,在此一并表示感谢。

编 者

2004 年 7 月

目 次

上 篇

第1 単元 ことば

第1 課 日本語は乱れているか	2
第2 課 言葉	10
課外読み物 日本語の論理	23

第2 単元 小説

第3 課 指	26
課外読み物 利休の死	45
第4 課 春は夜汽車の窓から	48
課外読み物 蜷	64

第3 単元 情報社会

第5 課 パソコン通信というコミュニケーション	67
課外読み物 豊かさとは何か	78
第6 課 地球の知性	80

課外読み物 文化開国への挑戦	92
----------------------	----

第4単元 文化と社会

第7課 風	96
課外読み物 貴人論	105
第8課 温かいスープ	108
課外読み物 枯尾花の時代	118
第9課 自然と人工	121
課外読み物 空間と人間	133
第10課 アクロポリスと石ころ	135
課外読み物 ヨーロッパの個人主義	147

第5単元 詩

第11課 道程	149
第12課 朝に	157
第13課 松の針	161
課外読み物 詩・言葉・人間	167

下 篇

第6単元 ことば

第14課 子供の問い	172
第15課 言葉についての新しい認識	184
課外読み物 醤油と薔薇の日々	198

第7 単元 日常と経験

第16 課 鉄塔を登る男	202
課外読み物 日本人の悲劇	216
第17 課 到来する記憶	219
課外読み物 しぐさの日本文化	232
第18 課 時間の不思議	235
課外読み物 美貌について	249

第8 単元 ドラマ

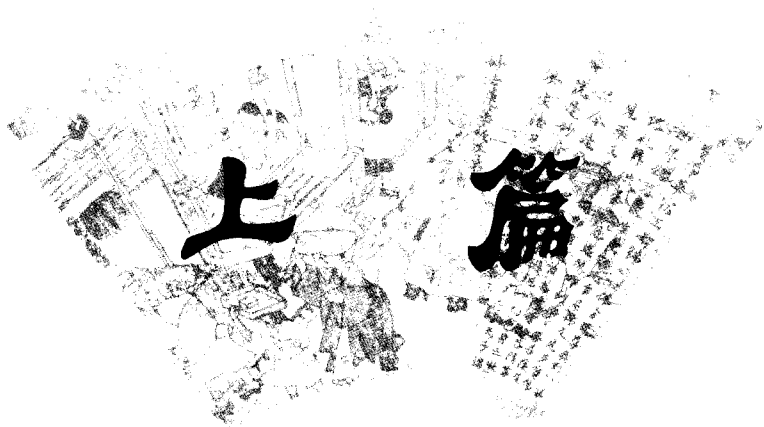
第19 課 燕の駅	252
第20 課 大予言	272
課外読み物 演劇	297

第9 単元 小説

第21 課 蝨	299
第22 課 ころろ	319
課外読み物 土	364

第10 単元 短歌と俳句

第23 課 夏はきぬ(短歌)	366
第24 課 新緑(俳句)	385



上篇

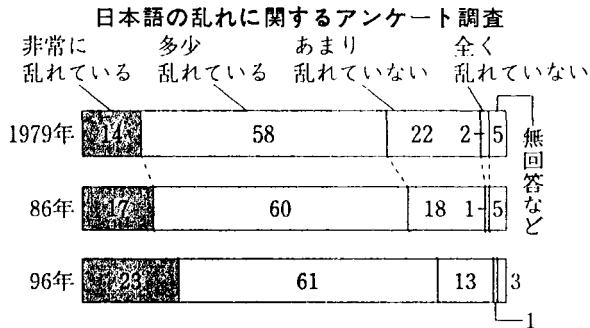
第1単元 ことば

第1課 日本語は乱れているか

—「日本語シンポジウム」から—

小池 保

ここに、ある放送局がまとめた第十回(1996年)の現代人の言語環境調査のまとめがございますが、最初の項目が「はたして日本語は乱れているか。」という質問です。それに対して、「非常に乱れている、あるいは多少乱れてい使用」というふうに、乱れているという意識をもっている方は、全体の84%でした。これを前々回^{ぜんぜんかい}1979年の調査と比べますと、そのときが72%、そのあと前回の1986年のときは77%でしたから、回を追うごとに乱れていると感じ、答える人が増えているということになりますね。



(「現代人の言語環境調査」から。数字はパーセントを表し、小数部分を四捨五入したもの。)

第1課 日本語は乱れているか

これを年代別に見てみますと、三十代の人がいちばん高いんですね。乱れていると感じているのが90%です。ついで四十代が86%、五十代が88%。ちょうど三十代、四十代、五十代のところで高くて、その前後が下がっている。こういうような形になっております。つまり三十代の方、これは推測ですが、会社で自分の下の世代を見て、なんだこの人たちはというふうに思っている。四十代、五十代もそういう面もありますし、自分の子供を見ながら、子供たちの言葉がどうも乱れているなあと感じている。それで、三十、四十、五十代の人たちには、「言葉が乱れている」という意識が強いのではないかというふうに推測されます。いずれの場合も、やり玉^{だま}にあがるのは若い人なんですね。言葉の乱れ、ほぼイコール若い人の言葉の乱れというふうに意識されているようです。

そこで、若い人たちはいったいどんな言葉を使い、どういう話し方をしているのか。高校生、大学生を中心に取材をしました。いろいろな若者言葉が出ています。

「イガイガシイ」という言葉を、わたしは初めて聞きました。おそらくいらいらするとか、不愉快だという意味だと思われま
す。「ガングロ」は、顔が黒い。日^ひ焼^やけしていて格好いいという
意味ですね。「チョーガングロでメッシュ入ってキレイメな子」
というような使い方をしていました。「メッシュ」とは、黒^{くろ}髪^{かみ}や
茶^{ちや}髪^{ぱつ}の中に金^{きん}髪^{ぱつ}などを筋のように入れることを指し、「キレイ
メ」とは、単にきれいというのではなく、主に、日^ひ焼^やけサロ
ンに通うなどして適度に日に焼けていて、筋^{きん}肉^{にく}質^{しつ}で締まった体をして
いて、アクセサリーも含めてブランド品^{ひん}をうまく身に付けて
いる男の子を指す言葉です。

日語精読

感情を表す若者言葉が多いのは、御存じのとおりです。「オニムカック」という言葉もよく聞かれました。非常にむかつくという意味です。それから「ウザイ」は、あるいは「ウザッタイ」ともいいますが、うっとうしい、面倒だ。「マジギレ」は、本当に腹が立って「キレル」こと。

以上のような言葉、若者言葉がそれこそ機関銃のように発射されます。そのほか「ドラマ」「バイク」などのアクセントのへいばんか、平板化、「見れる」「食べれる」などの「ら」抜き言葉。そして最近よく耳にする、途中で質問するかのように抑揚をつけて上げる、「半疑問・半クエスチョン」とよばれる例も頻繁に聞かれました。

ある研究者は、「若者言葉というのは娯楽機能をもたせるために使っている。そして、その会話を促進するために使っている。娯楽機能と会話促進機能に真骨頂がある。」と指摘していますけれども、高校生あるいは大学生の会話を聞いていますと、まさしくそういう娯楽機能、会話促進機能というのを感じますね。

【筆者】

小池 保(こいけ たもつ)昭和21(1946)年～ 。東京都出身。放送解説委員。長くアナウンサーをしながら、話し言葉をテーマにしたラジオ・テレビ番組制作に携わってきた。

【出典】

本文は「日本語よ どこへ行く」によった。

【テーマ】

ある調査によると、日本語は乱れているという意識をもっている人は、全体の84%に上り、年々乱れていると感じる人が増え

第1課 日本語は乱れているか

ている。年代別には、三十代、五十代、四十代の順に多く、子供や下の世代について言葉が乱れていると思っているようだ。つまり、言葉の乱れは若い人の言葉の乱れと意識されているようである。

高校生、大学生を中心とした取材で、いろいろな若者言葉に出会った。そのほか、アクセントの平板化、「ら」抜き言葉、「半疑問・半クエスチョン」とよばれる例などが見られた。若者言葉は、娯楽機能をもたせるために使われ、また、会話を促進するために使われていると感じる。

【語釈と語句】

1. 日本語シンポジウム: このシンポジウムは、1998年11月3日に開かれた。この文章はそこで司会を務めた小池保氏の発言を記録したものである。
2. やり玉にあがる: 多くの中から選び出して攻撃・非難の目標とする。
3. イコール: 「…に等しい」「…に同じである」の意。
4. 取材: ある物事や事件から作品・記事などの材料を取ること。
5. イガイガシイ: いらいらする。不愉快だ。
6. ガングロ: 顔が日焼けしたり、化粧したりして黒くなる。
7. メッシュ: 髪の毛の一部を染めること。また、その染めた部分。
8. 筋: 細長く一続きになっているもの。
9. 筋肉質: 脂肪が少なく筋肉のひきしまった体質。
10. アクセサリー: 付属品。特に、ベルト、ブローチ、ネックレスなどの服装をひきたたせるための装身具。
11. オニムカツク: 非常に癪しやくにさわって腹が立つ。「オニ」は「鬼」で、名詞に冠して、勇猛・無慈悲・異形・巨大の意をあ

日語精読

らわす語。例えば「鬼武者」「鬼婆」「鬼やんま」。「ムカツク」は「むかつく」で、腹が立つという意味です。

12. ウザイ・ウザッタイ: うっとうしい。面倒だ。
13. うっとうしい: うるさい。わずらわしい。うっとうしい。
14. キレル: 我慢が限界に達し、理性的な対応ができなくなる。
15. 機関銃: 引き金を引き続けると自動的・連続的に弾丸が装填・発射される銃。マシン・ガン。
16. アクセントの平板化: 「ドラマ」「バイク」では・部が本来高く発音されるのに、そうならないこと。
17. 抑揚: 調子を上げたり下げたり、また、強めたり弱めたりすること。あげさげ。
18. クエスチョン: 疑問。質問。
19. 真骨頂: 物事の真価を表している姿。真実の姿。本来の姿。
しんめんもく
真面目。
20. まさしく: 実に。確かに。

学習問題

【学習の手引き】

1. 各段落の内容をまとめてみよう。
2. 本文の要旨を百文字ぐらいでまとめてみよう。

【設問】

1. 1979年・1986年・1996年の言葉環境調査の結果からどんなことがわかるか。
2. 三十代、四十代、五十代は、どんな人の日本語について乱れて

第1課 日本語は乱れているか

いると感じているか。

- この調査を分析した結果、日本語の乱れとは、どのようなものだと意識されているといえるか。
- 次の若者言葉の意味を答えよ。
イガイガシイ——
オニムカツク——
ウザイ・ウザッタイ——
- 「若者言葉」のほかに、若い人の話し方にはどんな特徴があるか。三つ答えよ。
- 筆者は、若者言葉に対してどんな考えをもっているか。

【言葉の学習】

- 「やり玉にあがる」と「…機関銃のように」を用いて短文を作ってみよう。

【漢字のまとめ】

玉(玉石)	取(掬取 ^{さくしゅ})	適(適切)	筋(鉄筋 ^{てつきん})
発(発言)	銃(銃声)	抑(抑制)	誤(誤解)
促(催促)			

学習問題の回答

【学習の手引き】

- 各段落の内容をまとめてみよう。
- 第一段 (初め～意識されているようです)…アンケート調査からある放送局がまとめた現代人の言葉環境調査によると、日本語は乱れているという意識をもっている人は、全体の84%で、年々乱れていると

日語精讀

感じている人が増えている。これを年代別に見てみると、三十代、五十代、四十代の順に高く、三十代は自分の下の世代について、四十代、五十代は自分の子供について言葉が乱れているという意識が強いのではないかと推測される。言葉の乱れ、イコール若い人の言葉の乱れと意識されているようである。

第二段（そこで、～終わり）…若者言葉の意味

若い人たちの話し方について、高校生、大学生を中心に取材した。「イガイガシイ」「オニムカック」「マジグレ」などの若者言葉が機関銃のように発射されるほか、アクセントの平板化、「見れる」などの「ら」抜き言葉、途中で質問するかのように抑揚をつけて上げる、「半疑問・半クエスション」とよばれる例も頻繁に聞かれた。ある研究者は、「若者言葉というのは娯楽機能をもたせるために使われ、その会話を促進するために使われる。」と指摘したが、まさしく娯楽機能、会話促進機能を感じる。

2. 本文の要旨を百文字ぐらいでまとめてみよう。

- 日本語は年々乱れている。言葉の乱れは特に若い人の言葉の乱れは目立つ。アクセントの平板化、「ら」抜き言葉など、若者言葉は、娯楽機能をもたせるために、また、会話を促進するために使われている。

【設問】

1. 1979年・1986年・1996年の言葉環境調査の結果からどんなことがわかるか。
- 乱れていると感じ、答える人が増えていること。
2. 三十代、四十代、五十代は、どんな人の日本語について乱れていると感じているか。
- 会社の自分の下の世代や、自分の子供。
3. この調査を分析した結果、日本語の乱れとは、どのようなものだと意識されているといえるか。
- 若い人の言葉の乱れと意識されている。
4. 次の若者言葉の意味を答えよ。
- イガイガシイ——いらいらする。不愉快だ。
オニムカック——非常にむかつく。

第1課 日本語は乱れているか

ウザイ・ウザッタイ——うっとうしい。面倒だ。

5. 「若者言葉」のほかに、若い人の話し方にはどんな特徴があるか。三つ答えよ。

■ (1) アクセントの平板化

(2) 「ら」抜き言葉

(3) 「半疑問・半クエスチョン」

6. 筆者は、若者言葉に対してどんな考えをもっているか。

■ 若者言葉は、娯楽機能をもたせるために使われ、会話を促進するために使われていると感じている。

【言葉の学習】

1. 「やり玉にあがる」と「…機関銃のように」を用いて短文を作ってみよう。

■ (1) 「やり玉にあがる」

○ 私がみんなと違う意見を述べると、すぐやり玉にあがる毎日でした。

○ 今日のクラス会でいつもクラスの風紀を乱す男子生徒がやり玉に上がった。

○ 国会で脱税をしてもうけている企業がやり玉に上がった。

(2) 「…機関銃のように」

○ 今日の会議で山田さんは自分自身の主張を通すため、他の出席者を無視して機関銃のように発言した。

○ 日頃、父は私が言うことを聞かなくても我慢していますが、今日はずいに爆発し、機関銃のように私を叱り飛ばした。

○ 閣僚が曖昧な回答をしたため、野党議員は一斉に機関銃のように質問を浴びせた。

第2課 言葉

俵 万智

外国を旅行していると、「言葉」について考えさせられることが多い。自分とは全く異なった言葉を用い、その言葉で考えている人たち。その人たちによって作り上げられている文化。そこに身を置くわけであるから、当然と言えば当然のことかもしれない。

私は、大学で少し中国語を勉強していたこともあって、今回の旅では積極的に中国語を使ってみた。朝市での買い物や市内バス、ホテルなどでけっこう役に立ち、気をよくしたものである。要は度胸^{どきょう}と愛嬌^{あいきょう}。とは言っても、失敗談も数えればきりがない。中国語には「四声^{しせい}」というのがあって、発音が同じでも、音の上げ下げで意味が違ってくる。それが難しい。

こんなことがあった。食堂でお茶が欲しくなり、「茶」を下さい、と言ったはずなのに、出てきたのがなんと「フォーク」。後で調べて分かったのだが、お茶もフォークも発音は「チャー」であるが、お茶のほうはしり上がりに言わねばならない。それを私は平らに「チャー」と言ってしまったので、フォークの登場と相成ってしまった。

片言^{かたこと}の中国語を用いながら、改めて思ったのは、「言葉とは〈道具〉である。」という、まことに基本的なことである。あるいは

は〈手段〉と言ってもいい。リンゴを買う、行き先を告げる、水道の故障を伝える…そういった目的を達成するための、言葉は最も有効な手段なのだ。私の発した「ウォヤオピングォ」という音が、ある法則をもって相手の頭の中に伝わり、「ああ彼女はリンゴが欲しいのだな。」ということが理解される。日本語ではなんでもないことだが、中国語をもってすると、まことに不思議な道具として「言葉」は実感された(そして、その不思議さと対照的に実感されたのは、モノとしてのリンゴの手触りの確かさである)。

必死で歌を作ったりしていると、言葉そのものを目的のように錯覚しがちだが、決してそうではないということを、この原始的な中国語体験は教えてくれたように思う。伝えたいことがあってこそ言葉、なのである。

同様のことは、お金についても感じられた。外国の紙幣を見ると「ああ、お金って紙だったんだなあ。」とつくづく思う。社会の一定のルールに基づいて、それは目的達成のための有効な手段となるが、モノとしてはあくまで、ただの紙である。言葉が記号であるのと、それはよく似ている。そしてしばしば、お金も〈手段〉という本来の役割を忘れられて〈目的〉と化してしまう点も、同様であろう。

言葉は、しょせん道具である。が、「たかが」とは言えない恐ろしい道具であることをまた、私は中国で実感した。

杭州から上海への列車の中、私の向かいに一組の男女が座っていた。男は女の父親であろうか。そんなふうに見受けられた。何か熱心に話し合っている。かなり早口で、とても私には内容を聞き取ることはできなかった。が、そのことがかえって私の興きょうをそそった。男が何か言う。すると女の表情が変わ